

新 高梁 人名録

おびや ぜんきゅう
帯屋 全久 氏
(不詳 ~ 1700)



穴井手

6月の定例会スケジュール

6/9	金	本会議 (議案の上程)
16	金	本会議 (一般質問)
19	月	本会議 (一般質問)
20	火	本会議 (一般質問)
22	木	本会議 (議案質疑)
23	金	委員会
26	月	委員会
27	火	委員会
30	金	本会議 (採決)

※6月定例会への請願・陳情の締め切りは6月1日(木)までです。
※日程は変更となる場合があります。正式な日程は決まり次第、ホームページでお知らせいたします。

**政治家の寄付は禁止！
有権者が求めることも
禁止されています！**

公職選挙法により、市議会議員が選挙区内でお中元やお歳暮、ご祝儀を出すことは禁止されています。市民から求めることも禁止です。

「コロナ禍以前、成羽小学校運動会の最後のプログラムと言えば踊りがありました。そこで踊られていたのが、全久踊りとちよんがり踊りでした。その全久が人名だということ知らない方が地元でも少なくないと思われれます。

帯屋全久の出生は分かりませんが、名は太兵衛と言いい、当時古町桜丁にあった吉田屋という雑貨店で丁稚奉公をし、後にのれん分けをしてもらい帯屋として店を構え繁盛させ、その後には酒造業を営みました。莫大な資産をつくれた全久は、1680年に八幡神社へ石灯籠を寄進したり、1688年に源樹寺本堂の改築に尽力しました。

また、全久は古町一帯のかんが

い用水の恩人と言われています。古町郷では、枝中渡の辺りで島木川に突出した岩石のため用水を引くことができまませんでしたが、全久は私財を投じ、岩石をくりぬいて安全な用水路を完成させ、これによって水不足を解消されました。この用水は「穴井手」と呼ばれ、現在も水を満々と湛え流れ続けています。全久の功績は極めて高く、死後、農民達は、感謝の意を込めて供養のため命日には全久の屋敷跡で踊り冥福を祈ったのが全久踊りであり、現在まで傳承されています。

出典「成羽町史」、「源樹寺資料」



源樹寺

今号の表紙

高梁城南高等学校

本校は平成16年春に高梁城南高等学校として生まれ変わり、今年で19年目を迎えました。電気科・デザイン科・環境科学科の3つの専門学科が地域の中で学ぶ学校として、体験や実習を重視した学習を行っています。教科書では学べないことも肌で感じ、仲間と切磋琢磨しています。



編集

- 議会広報公聴特別委員会
- 委員長 森 和之
 - 副委員長 金尾 恭士
 - 委員 石部 誠
 - 委員 石井 聡美
 - 委員 森上 昌生
 - 委員 伊藤 泰樹
 - 委員 新倉 淳
 - 委員 平松 久幸

あとかき

新緑の美しい時節となりました。この時節の青い空には、元気に泳ぐ鯉のぼりに思いをさせる方は多いと思います。

しかし、最近鯉のぼりが見られなくなったと感じています。住宅事情等で減少しているかと思われませんが、やはり大きな要因は少子化であると思います。

国が新設したことも家庭庁にも期待しますが、「子育てするなら高梁市」本市の施策もより手厚いものとする必要性を感じています。

(新倉 淳)

